

あま市 観光ガイド



見て★聞いて☆歩いて♪体験して!!

あま市観光協会



ガイドボランティアをご利用ください

あま市観光協会

住 所

〒497-0002 愛知県あま市七宝町遠島十三割2000

(あま市七宝焼アートヴィレッジ内)

TEL.052-485-8671 FAX.052-443-7122

<http://www.ama-kankou.jp/>



〈公式サイト〉



〈SNSはこちら〉

営業時間

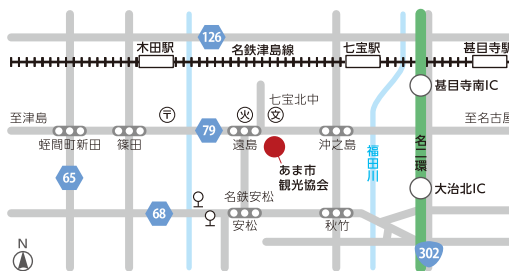
午前9時～午後4時

休 館 日

毎週月曜日・祝日の翌日(ただし翌日が月曜の場合は、その翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

交通案内

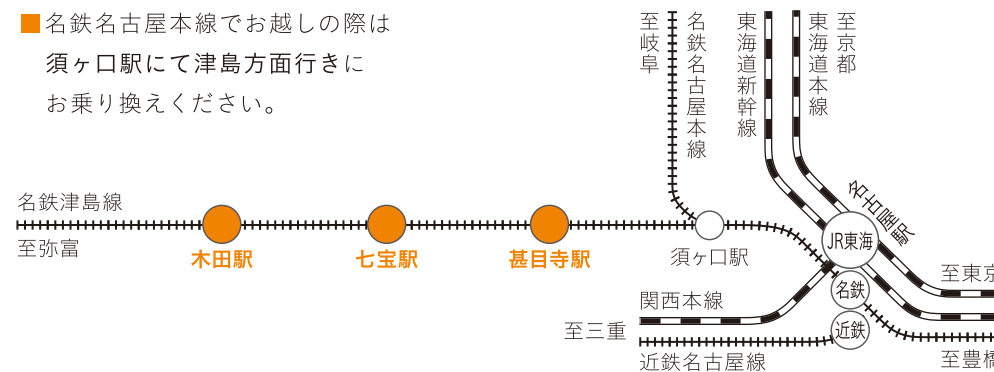
名古屋駅より車で約20分(西へ10km)
名鉄津島線「七宝」駅下車徒歩約25分
名鉄津島線「木田」駅下車タクシーにて約5分
名鉄バスセンターより津島線「安松」下車徒歩約15分



アクセス

公共交通機関ご利用の場合は

■名鉄名古屋本線でお越しの際は
須ヶ口駅にて津島方面行きに
お乗り換えください。

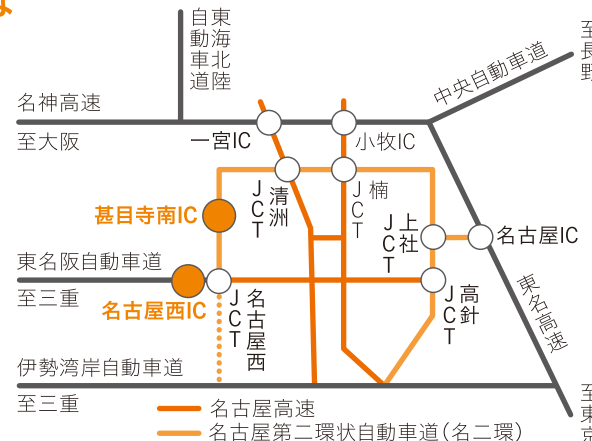


お車ご利用の場合は

■東京・長野方面から
名古屋IC→
名二環→**甚目寺南IC**

■京都・北陸方面から
一宮IC→名古屋高速→清洲JCT→
名二環→**甚目寺南IC**

■三重方面から
東名阪自動車道→**名古屋西IC**





あま市へようこそ！

あま市の紹介

2010年に七宝町・美和町・甚目寺町が合併し「あま市」となりました。この地域の歴史は古く、甚目寺観音での「かやつじんじゃ節分会」や萱津神社での「れんげじ香の物祭」、蓮華寺での「ぼさつ二十五菩薩お練り供養」など伝統文化が数多く残されています。

6台の山車が
揃った姿は壮観！

map
B-3



10月

木田の山車揃え

毎年10月第2日曜日、木田の八剱社で行われる山車揃えです。華やかに飾り付けられた6台の山車を鐘と太鼓で木田中を賑やかに曳きまわして、八剱社に参詣します。

map
B-2



12月

イルミネーションフェスタ

毎年地域住民の協働により30万球の灯の創作で来場者を楽しませています。点灯式当日は美和文化の杜・ふれあいの森一帯で趣向を凝らしたイルミネーションや屋外飲食コーナーのほか、いろいろなイベントも多数開催します。

漬込神事は
一般参拝者も参加可！

map
D-2



8月

香の物祭

毎年8月21日、萱津神社で行われる国内唯一の漬物の祭礼「香の物祭」には、各地から漬物業者が集まります。祝詞奏上の後神饌をささげ、巫女の舞が奉納された後、香の物殿にて漬込神事が執り行われます。

map
B-3



10月

湯の花神事

毎年10月第2日曜日、木田の八剱社で行われる湯立ての神事。神事の一週間前に氏子によって地面を掘り下げたカマドを築き、豆木と藁で湯を沸かします。神主による祝詞の後、参拝者に湯が振舞われます。

map
A-2



4月

二十五菩薩お練り供養

毎年4月第3日曜日、蓮華寺で開催される蜂須賀弘法御開帳の記念法会で、二十五菩薩が現世に現れ、民衆を極楽浄土に導く様子を再現する伝統行事です。

map
B-3



8月

あまつり

毎年8月、七宝焼アートヴィレッジで開催。市民団体等による多数のブース出店、市民グループによるダンス演舞・ジャズ生演奏・お笑い舞台等、さまざまなイベントが行われ、まつりの最後には手筒花火が披露されます。

あまの みどころ

イベント カレンダー

map
C-2



2月

甚目寺観音節分会

尾張四観音の1つである甚目寺観音では福をもとめる参拝者で毎年賑わいます。

map
B-5



2月

オコワ祭

毎年2月11日、七宝町下之森の八幡神社で行われる神事。オコワを入れたお櫃を荒縄で編んだ包みに入れ、境内のオコワ石に何度も叩きつけ中のお櫃を割り、餅状になったオコワを参拝者が奪い合うという珍祭です。

map
A-2

蓮華寺

蜂須賀弘法と親しまれている蓮華寺は、弘法大師が開いたと伝えられる真言宗の古刹で、戦国武将蜂須賀小六正勝とその子家政の菩提寺として知られます。寺の南には、「蜂須賀小六正勝公碑」と「蜂須賀城趾」の石碑が建てられています。

map
B-2

福島正則生誕地碑

菊泉院

鎌倉時代に創建、文禄元年より禅宗として開山された菊泉院は、戦国武将福島正則の菩提寺として知られ、正則の位牌や護持仏の毘沙門天立像、肖像画が奉納されています。院の南に「福島正則生誕地」碑、西には正則が修復造営したと伝わる二ツ寺神明社があり、周辺には福島正則ゆかりの史跡が残されています。

map
C-2

鳳凰山甚目寺

尾張四観音の一つとして知られ、縁起によると推古天皇5年(597)に伊勢の甚目龍麻呂という漁師が海中から聖観音菩薩を引き上げ、それを草庵に祀ったのが甚目寺観音の始まりです。天智天皇の病氣平癒祈禱が縁で勅願寺に指定されたのを契機に大寺院へととなりました。国の重要文化財6件を含む数多くの寺宝が今日まで伝わっています。

map
C-3

芳春院の里

七宝町沖之島は、初代加賀藩主前田利家の妻まつ(後の芳春院)の生誕地です。そのゆかりの地に、芳春院顕彰札が立てられています。

map
D-2

萱津神社

香乃物殿

日本武尊が東征の途中に参拝したと伝えられる古社で、祭神は農耕の神の鹿屋野比売。国内唯一の「漬物の神」が祀られています。毎年8月21日に「香乃物祭」が行われます。また、拝殿の裏手には、良縁に恵まれるといわれる御神木「連理の榊」があり、毎年4月第2日曜には縁結びと豊作を祈る献神祭が開催されます。

map
B-2

二ツ寺親水公園

緑や水辺の保全を目的に整備された公園。芝生広場の他、「実りのプロムナード」や、ハスなどの水生植物が生息する「修景池」があり、市民の憩いの場となっています。BBQ設備や多目的に使えるグラウンドもあります。



あるいて
まわる

おすすめ
スポット!

map
C-2

森が丘公園

滑り台やブランコなどがあり、小さい子どもがのんびり遊べる公園です。大人の健康増進に役立つ器具もあり、運動不足解消にもってこいです。駐車場もありショッピングセンターやドラッグストアなども隣接しており便利です。

七宝焼 ゆかりの史跡



はやししょう ごろうおうけんしょう ひ
林庄五郎翁顕彰碑

七宝焼の秘法を会得し、当地域に広めた先駆者としての功績を称え、組合が中心となり昭和37年に遠島の八幡神社境内に建立されました。



しっぽうやきげんさん ち どうひょう
七宝焼原産地道標

県道名古屋津島線から遠島へ入る目印として明治28年に建立。当時としては珍しく、上部に「shippoyaki Toshima」とローマ字で刻まれています。市指定史跡。



ふれあい広場

子どもからご年配まで利用者の交流と憩いの場となる広場です。七宝焼アートヴィレッジの駐車場（無料）をご利用いただけます。



あま地産地消ふれあい軽トラ市

毎週日曜朝に七宝焼アートヴィレッジ敷地内で開催され、あま市近郊で生産された新鮮で安全なやさい等を購入できます。



七宝焼アートヴィレッジ

「尾張七宝」の歴史や制作工程を見学できる施設です。七宝焼体験教室では、手軽にオリジナルの七宝焼作りが楽しめます。七宝製品を販売するショップもあり、七宝焼について総合的に学び・楽しめる国内唯一の公立施設です。（<http://www.shippoyaki.jp>）

☎052-443-7588 休館日：月曜日・祝日の翌日（ただし翌日が月曜の場合は、その翌日）

金属の表面にガラス質の釉薬を焼き付けたものが七宝で、起源は古代エジプト・メソポタミア文明にさかのぼることができます。国の伝統的工芸品にも指定されている「尾張七宝」は、江戸時代の終り頃に名古屋市内に住んでいた梶常吉によって作られ始めました。その技術が広まりあま市とその周辺は日本の七宝製造の中心地となります。日本の七宝は、19世紀半ばから始まった万国博覧会への出品を通じて、世界に知られました。



伝統の技と輝きを
今に伝える匠の技



オリジナル七宝作りにチャレンジ!!



世界が認める日本の美 伝統工芸 尾張七宝

特産



刷毛刷子

甚目寺地区の地場産業として知られる刷毛の起りには、大正4年に山崎政三郎、つた夫妻が、大阪で技術を学び持ち帰ったことによります。農閑期の仕事として広まりましたが、職人として別家開業する者も増え、高度経済成長期の昭和45年には、生産日本一を誇るまでに成長しました。以前は塗装用の刷毛が多く作られていましたが、最近では調理用の刷毛も作られるようになり、用途にあわせて何百種類もの刷毛が作られています。



味噌・しょうゆ

醤油の決め手は澄んだ水と四季の気候。何もかも揃ったあま市は、味噌・醤油の名産地です。



あま市巡回バスのご案内

あま市ウェブページより、ルート、時刻表、など詳細をご確認ください。
<http://www.city.ama.aichi.jp/kotsu/koutuu/006049>



あま市紹介：P1

イベントカレンダー：P3

おすすめスポット：P5

特産：P7

伝統偉人：P9

あま市 ゆかりの偉人

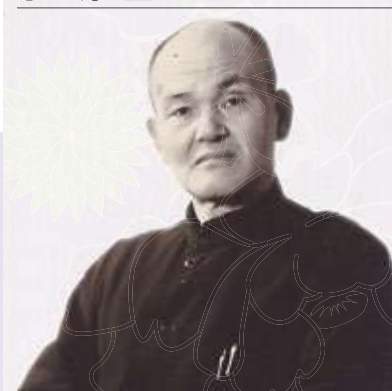
はらすか ころくまさかつ 蜂須賀小六正勝 1526～1586年



ふくしま まさのり 福島 正則 1561～1624年



おがさわらのぼる 小笠原 登 1888～1970年



美和歴史民俗資料館

「米づくりと昔の暮らし」「郷土の歴史とくらしの道具」の展示ほか、美和地区の遺跡からの出土品や浮世絵・日本画を中心とした展示会、甘粕事件や二・二六事件を担当した小川關治郎に関する資料などを展示しています。
 ☎052-442-8522 休館日：水曜日・木曜日



甚目寺歴史民俗資料館

甚目寺地区で実施された発掘調査による出土品や甚目寺観音に関する資料のほか、人々の暮らしの道具、伝統的な祭礼や伝統芸能にまつわる資料などを展示しています。
 ☎052-443-0145 休館日：水曜日・木曜日

甚目寺説教源氏節 「もくもく座」

幕末期の江戸に大人気の大衆芸能「説教源氏節」が誕生しました。浄瑠璃や新内から生まれた節に説教祭文(神や仏の教えを独自の節回しで語るもの)を加えたもので庶民からの圧倒的な人気を誇る芸能として一世風靡しましたが、明治以降、衰退の一途をたどり絶えてしまいました。1988年世界人形劇フェスティバルをきっかけに公民館講座の人形劇サークルが「もくもく座」と名を改め源氏節の復興に立ち上がり再創造の道を歩きました。
 現在、説教源氏節の伝承・保存に努めているのは国内ではあま市「もくもく座」と広島県廿日市市「眺楽座」の2か所です。



伝統・偉人